

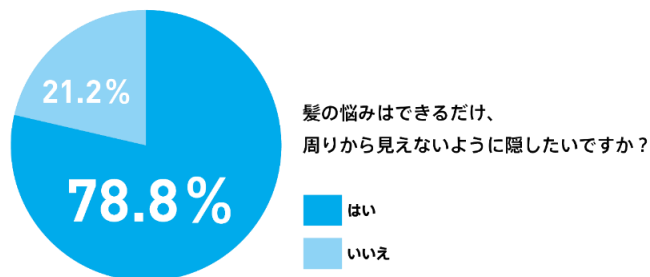
スカalpD／スカalpD ポーテが国際女性デーに合わせて 髪に悩む女性の笑顔を応援するキャンペーン動画を配信開始 ありのままの自分を映し出す「水中写真撮影」にチャレンジ

アンファー株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：三山熊裕、以下「アンファー」）のブランド「スカalpD」及び「スカalpD ポーテ」は、髪に悩む女性の笑顔を応援すべく、3月8日の国際女性デーから「髪を解き話そう」キャンペーンを開始いたします。薄毛に悩む男女7グループが、ありのままの自分を映し出す水中写真撮影を介して、悩みと前向きに向き合う様子をWEB動画及び新聞広告で発信いたします。

WEB動画制作の監督には、ソーシャルグッドな動画作品を数多く手がけ、海外でも多数の受賞歴を持つドキュメンタリストの高島太士氏が担当しました。



【髪の悩みを隠したい人は約8割 「人に指摘されるのが怖い」「相談するのが怖い」の声】
「スカalpD」及び「スカalpD ポーテ」は、男女193人に対し髪に対するアンケート調査を行いました。



「髪の悩みはできるだけ、周りから見えないように隠したいですか？」という問いに対し、『はい』

と回答した方は全体の約8割。その理由に対するコメントは、
「周りの視線が気になり、やはり恥ずかしい気持ちが大きいです。精神的にも落ち込みます。」
「自分の中の“美しさ”と離れて、自分のこともいやになるから」
「帽子を被ってごまかしてしまう」
などがあり、髪について多くの方が悩んでいる現状があることが分かりました。

この結果から、「スカルプD」及び「スカルプD ポーテ」は髪に悩む人たちが相談しやすくなるよう、「髪を解き話そう」というメッセージを発信できる動画を作成しました。動画では、髪の悩みを隠せない水中で写真撮影を行い、その様子を収めました。

■「髪を解き話そう」をコンセプトとしたWEB動画

薄毛に悩む男女7グループがありのままの自分を映し出す「水中写真撮影」にチャレンジし、自分の髪と前向きに向き合う様子をWEB動画に収録しました。

参加者からは「歳を重ねて前髪の生えぎわが気になっていましたが、写真を見たときに想像以上に自分が楽しそうな表情をしていました」「富士額の角度が上がってきているようで、ここ1、2年気になっていたけど、自分が気にするほど心配な感じではなく、楽しい、明るい感じに写っていたのでやってみて良かったです」と、撮影後に気持ちの変化が訪れました。

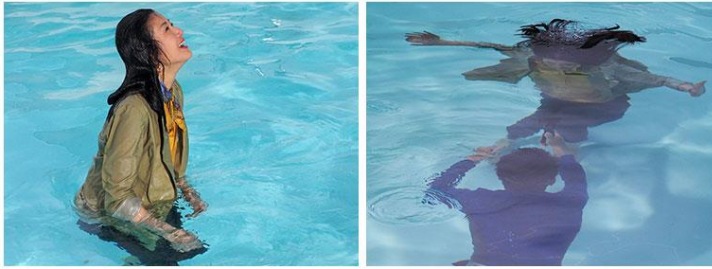
【撮影の様子】



積極的にチャレンジし、水中でも常に笑顔だったお二人
「想像以上に自分が楽しそうな表情をしていて驚きました」



初めての水中撮影で、思わず泣いちゃうお子さんも
「いつも見れない家族の顔が見れました」



あまりにも優雅な泳ぎ方に、スタジオからは感嘆の声が上がっていました
「楽しい、明るい感じに写っててやってみてよかったです」

■監督よりメッセージ

世の中に対して「問い」を立てる時は、問題を可視化して共感を呼ぶだけではなく、解決につながるヒントを提示することが重要です。いつの時代も、明るいクリエイティブが固定概念をアップデートした結果、見たことのない笑顔を生み出してきました。

この取り組みを通じて「写真を撮りたい」という声が増えることを期待しています。

【プロフィール】

高島太士（たかしま・ふとし）

FIRST APARTMENT 代表 / ドキュメンタリスト

人の一度しかない瞬間や感情を引きだし、映像に切りとる。

心を動かす強さと透明感のあるメッセージが特徴。

課題解決に特化した演出で、これまで手がけた作品は国内はもとより海外広告祭での受賞も多数。

受賞歴：Canne Lions、One Show、New York Festival、AdFest、SpikesAsia、PR AWARD、ACC 等



さらに、3月8日の国際女性デーに合わせ、本キャンペーンの内容を朝日新聞朝刊（都内版）に掲載いたします。髪で悩む方に共感いただければと思っています。

【参考資料】



最近、気になっているのが、写真を撮っている時に富士額の角度が上がってきてるんじゃないかって。

そう思いたくない自分もいるしでも写真を撮ってみるとやばいんじゃないあかなって、思う。

ここ1、2年くらいですね。

今日の写真、水中ということもあって結構あらわになるんじゃないかって心配だったんですけども、

自分が気にするほど心配な感じに写ってないというか楽しい、明るい感じに写っててやってみて良かったです。

加藤里奈(34)

薄毛が気になりだしたのは中学生の頃です。
思春期の真っ只中なので正直、辛かったですね。



35歳くらいになったら、
ハゲていてもしょうがないと思えるのですが
今はまだ、カッコよく思われたい
魅力的でありたいと思います。

撮影する前は、大丈夫だろうか
とまどいもありました。

写真はやはり薄毛でしたが
やってよかったな、面白かったな、と思っています。

市川 悠 (28)

歳を重ねてきて
前髪をあげた時の生えざわが気になったりしていました。



この先、大丈夫だろうか、
自分が思っている以上に他の人は気になってるんじゃないか。

写真を見た時に、
これは、ほんとびっくりだったんですけど
想像以上に自分が楽しそうな表情していて

やっぱり自分のコンプレックスって
本人が気にしすぎているんだなってめちゃくちゃ思いましたね。
この写真好きです。

写真左 / 萩原りょう (30)

妊娠をして、髪の毛が抜ける量が徐々に増えてきて
髪が床に落ちて困るなあ、というのが悩みですね。



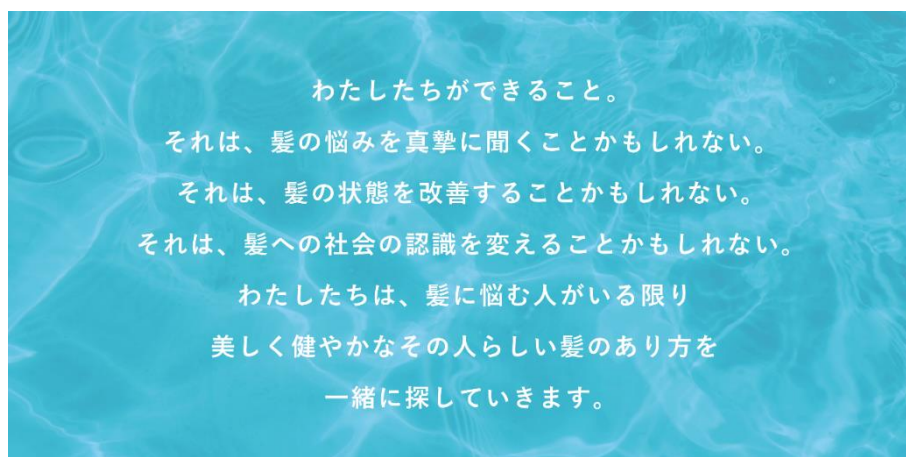
あとは、顔が丸いので
髪で顔の形を隠しがちなんですけども

水の中にはいると
整えなきゃいけないって思わない、
髪を気にせず自然体でいれました。

写真をみんなが褒めてくれたので、
おでこをだした髪型にしてもいいかも、
あまり気にしなくてもいいかもなって思いました。

写真左 / 大島朝子 (28)

【ブランドメッセージ】



動画情報：<https://www.youtube.com/watch?v=cFuMp6PmlZ4&feature=youtu.be>

特設サイト：<https://sd-beaute.angfa-store.jp/hair/>



スカルプD／スカルプD ポーテについて

男性用「スカルプD」は2005年に発売された頭皮を洗うシャンプーです。女性用「スカルプD ポーテ」は、2008年に発売された女性のための頭皮ケアシャンプーです。

当初、「スカルプD」は頭髪専門クリニックに通うお客様専用のシャンプーとして開発されました。一般的に「シャンプー＝髪を洗うもの」という時代の中で、スカルプDは「シャンプー＝頭皮を洗う、頭皮をケアする」という斬新なコンセプトで多くのお客様に受け入れられてきました。



アンファー株式会社について

アンファー株式会社は、1987年に会社設立。「予防医学」をタグラインに掲げ、“「いつまでも美しく、健やかに生きる」というエイジングケア・ライフスタイルの実現を支援すること。”という企業理念のもと、すべての人々に「美」と「健康」の提供を目指すトータルエイジングケア・カンパニーです。多くの医師や臨床機関・研究機関との密接なリレーションを構築しながら、「スカルプD」シリーズをはじめ、化粧品、食品等、様々なエイジングケア商品・サービスの企画・研究開発および販売を行っております。2019年4月10日より、“Dクリニックグループ”※に参画しました。

※Dクリニックグループは、「医学」を背景として、共通の目的と理念を実現するために、企業、クリニック、NPO法人団体等により発足したグループです。

【報道関係者お問合わせ先】

アンファー株式会社 広報課
TEL : 03-3213-8882 FAX : 03-3215-6155
Email : pr1@angfa.jp

【お客様からのお問合わせ先】

アンファー株式会社
〒100-7026 東京都千代田区丸の内2-7-2 JPタワー26F
TEL : 0120-722-002 [営業時間：午前9時～午後9時（年中無休）]